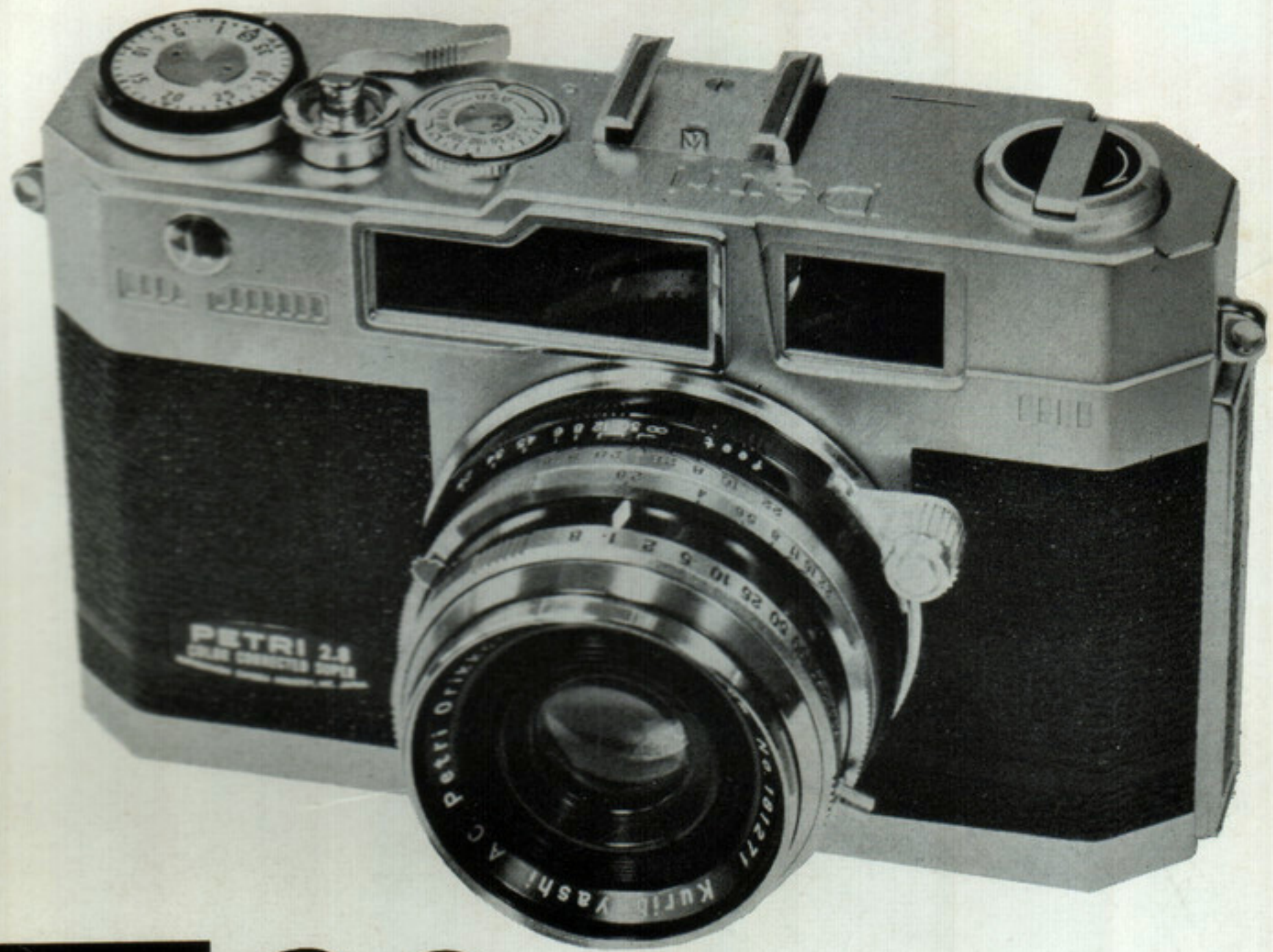


GOOD DESIGN '59

グ  
リ  
ー  
ン

の  
窓  
に



# ペトリ 2.8

定価 14,800  
(長期品質完全保証付)

- ▲オリコールF 2.8 45ミリ 高屈折率新種ガラス使用
- ▲カーペルMXV B.1秒~1/500秒 セルフタイマー付
- ▲グリーン・オ・マチックシステムによる一眼距離計連動、パララックス完全匡正
- ▲レバー捲上100°同時セルフコッキング
- ▲折畳み式クランク捲戻し
- ▲露出設定上部一線読取式

秘  
密  
が  
新  
発  
売  
！  
あ  
る  
……

新 発 売 ！

# ペトリ 1.8



- ▲ベトリオリコールII 50mm 1:1.8 (アンバーコーティング)
- ▲コバルSV B, 1~1/500秒倍数等間隔セルフタイマー付 MX切換接点
- ▲逆ガリレオ式 特殊採光窓に依る光像枠式パララックス自動匡正装置付
- ▲一眼画像式連動距離計 基線長45mm倍率a 6倍有効基線長27mm
- ▲直進ヘリコイド ~2.8ft
- ▲レバー式一操作 シャッターセルフコッキング式

定 価 ￥ 22,400  
ケース共

株 式 會 社



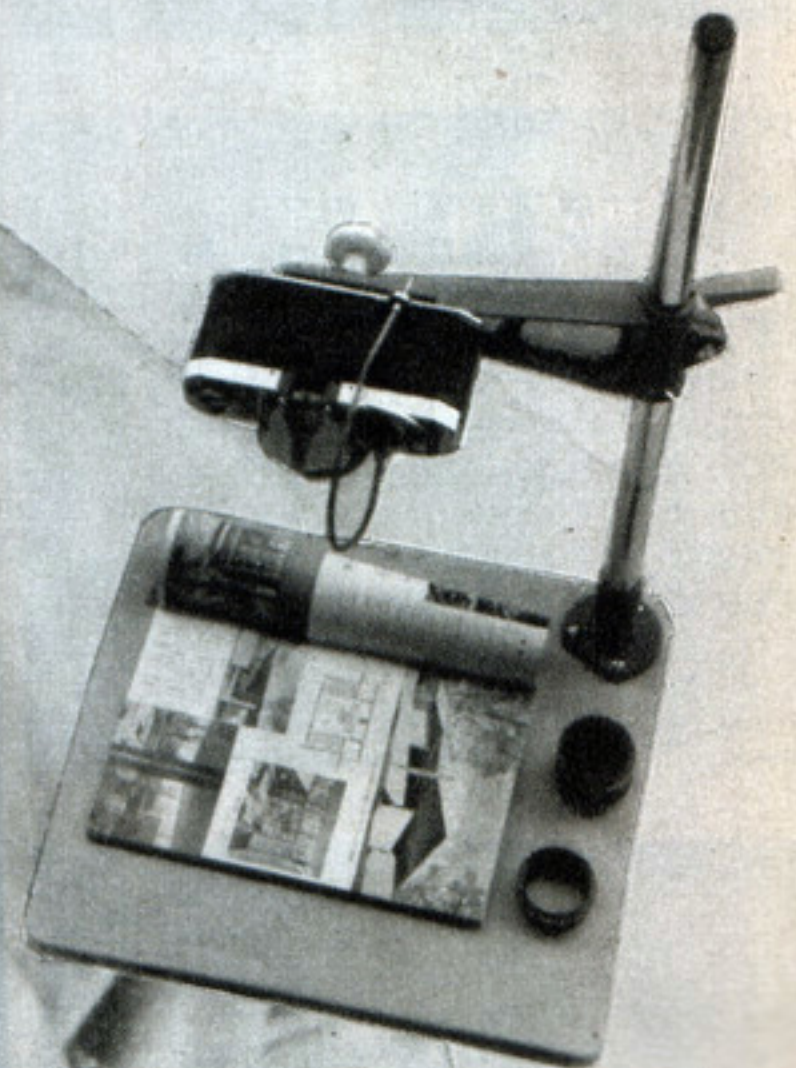
## 淺沼商會

東京都中央区日本橋室町3の3  
大阪・福岡・名古屋・札幌

秀れた性能とデザインの新鋭機

# パトリ

ペンタ



ミスユニバース日本代表 児島明子さん

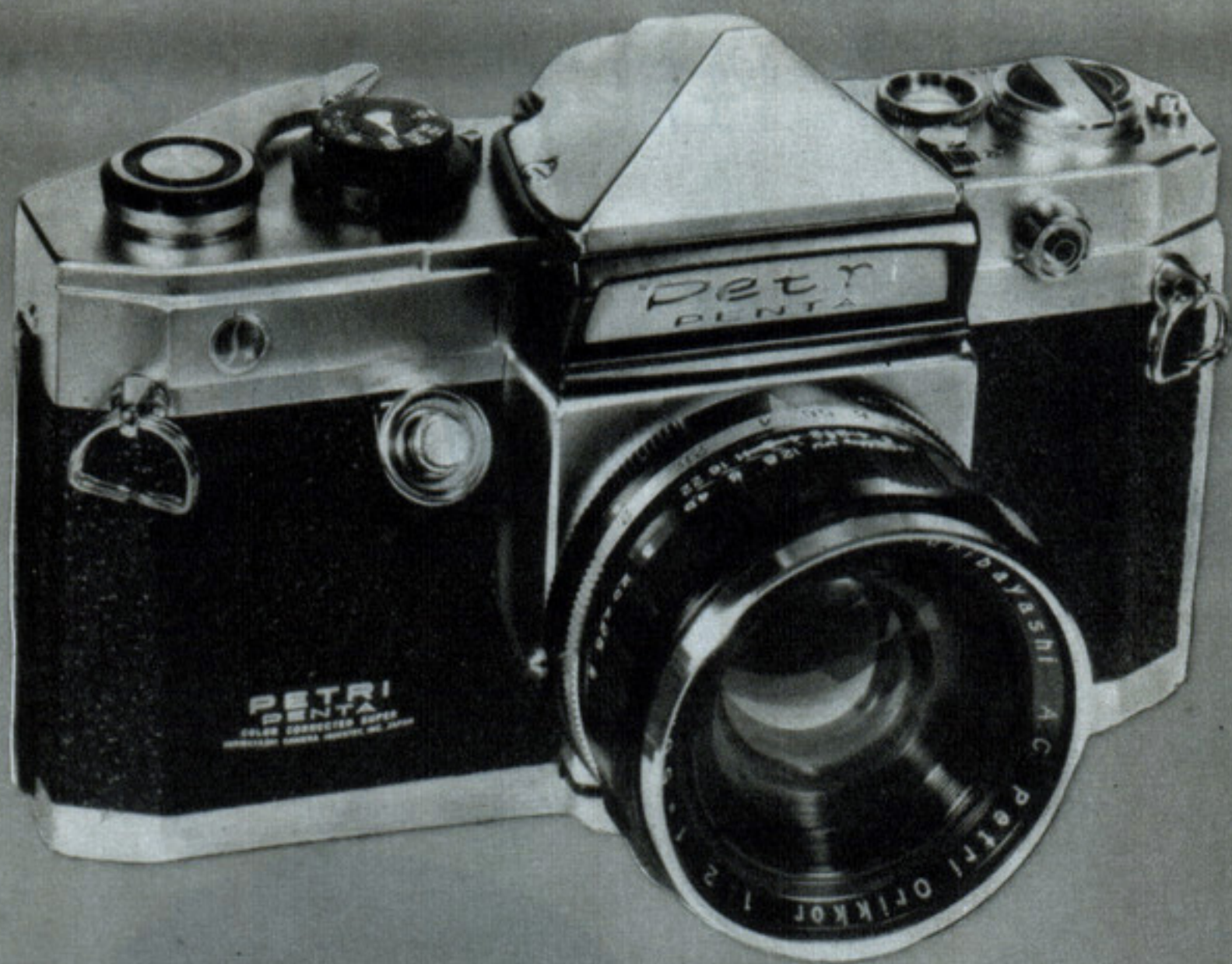


マウントはブラクティカ・スク  
リユーマウントで、アサヒペン  
タックスと同様である。特長と  
して他メーカーの交換レンズも  
ふくめて豊富に使える。レンズ  
の絞は実用性からプリセット式  
である。シャッターボタンはボ  
デー前面の斜上30度の角度で付  
いていて横位置縦位置共に押し  
やすくカメラブレのないように  
工夫されてある。

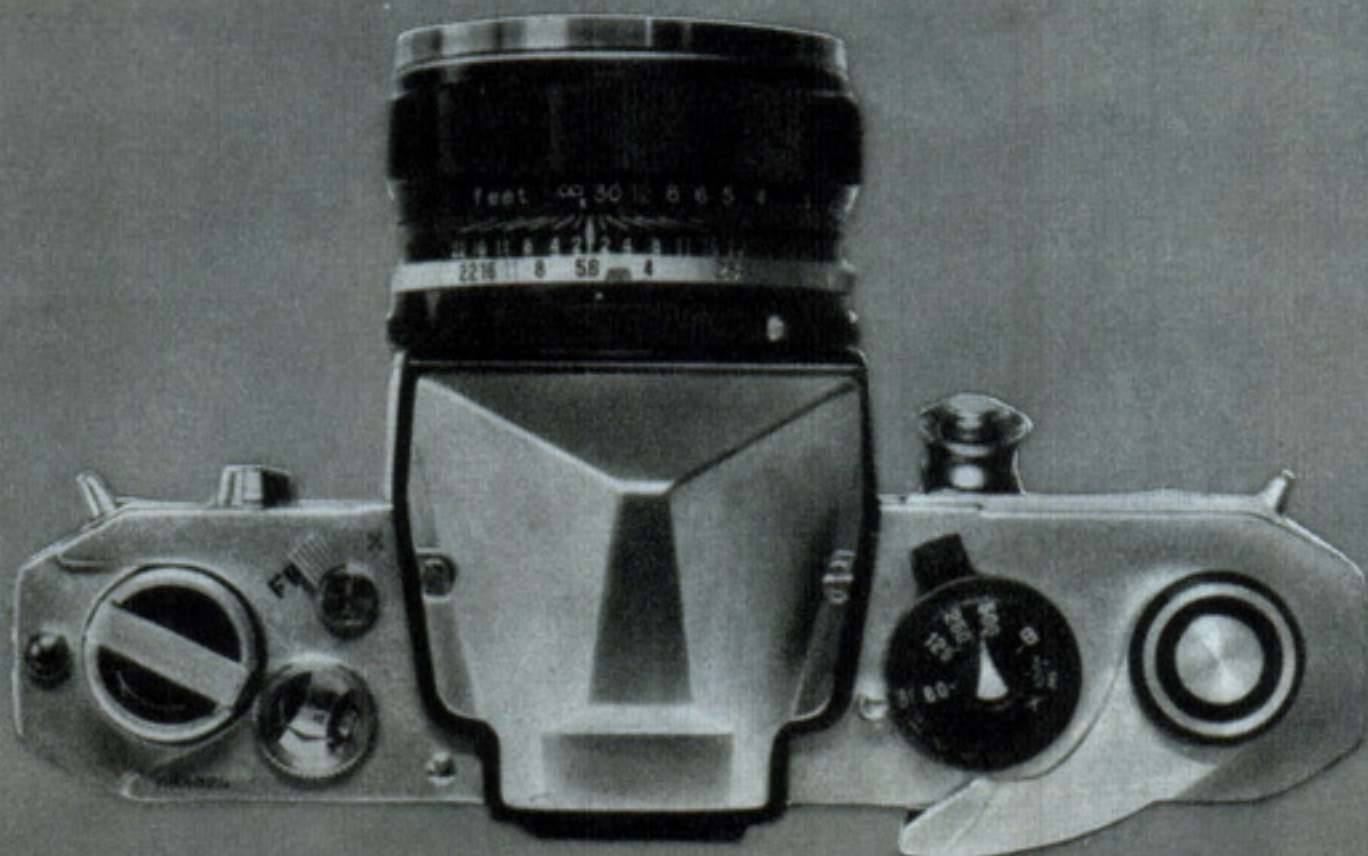
絞は色合せ指標になっていて、  
メッキ部のリングがプリセット  
環で、F4と5.6の中間の緑色  
と基部の緑色の印が合った時が  
絞られている状態を示すから操  
作がしやすい。

シャッターはフォーカルブレン  
で、シャッター速度調節は一軸  
二ダイヤル、二操作式で、上部  
高速ダイヤルB・ $\frac{1}{800}$ ~ $\frac{1}{500}$ 秒、そ  
の下に緩速ダイヤル $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{1}{800}$ 秒に  
分れて、スローシャッターから  
1秒が省かれて一段と実用機の  
性格を出している。しかも白と  
緑の文字でそれぞれシャッター  
速度目盛が色わけ指標されてい  
る。

シャッターボタンはカメラ右手  
前側の斜上に付けられてあり撮  
影に好適だ。シャッターに連動  
しているので、シャッターが落  
ちると同時にフィルムカウンタ  
ーが一駒進むのもペトリペンタ  
の見逃せない特色である。



## PETRI PENTA



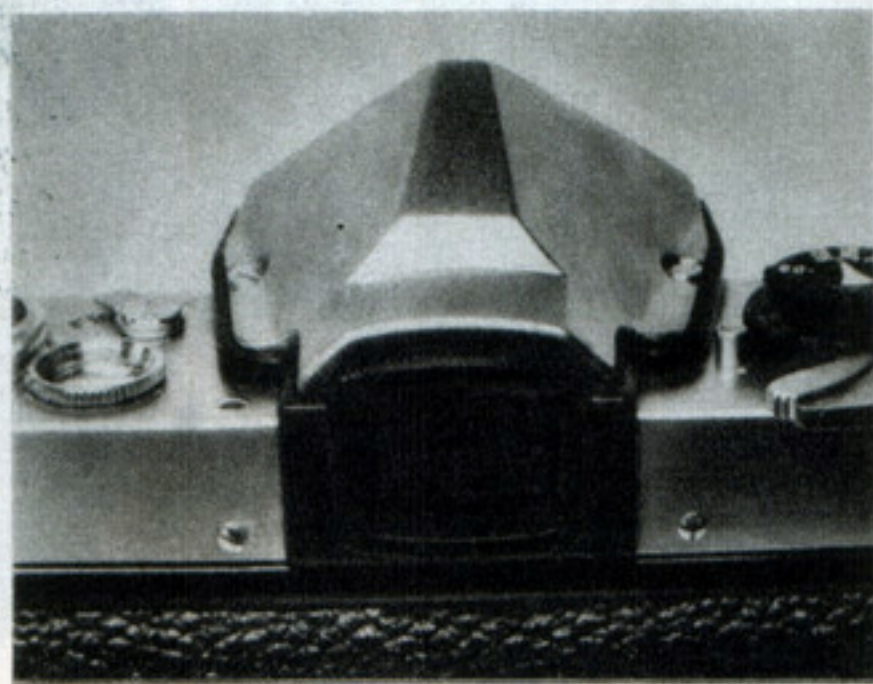
# ペトリペンタのすべて

今春三月ワイラデルファイアで催されたカメラショーに引き続き、五月東京で開かれた国際見本市で注目された大衆一眼ペンタで、大きな特徴を挙げてみるならば、使用度の少ない秒と、1秒もF2の明るいレンズとBで充分代用出来るところから、ふだんあまり使用されていけない機構を思い切つてはぶき、コストの引下げをして大衆に広く愛用してもらおうというのがペトリペンタである。他の機構は高級機とやら変りなく、細部にわたって気をくばり使いやすいよう工夫されている。さらに勝れているのはシャッターボタンであるボディの前面斜上に突き出しスロースャッターでもカメラブレの心配がなく、カメラを構えたそのままの指配りで撮れる便利さがある。

フィルム枚数計はフィルム巻戻しのクラシクの内側小窓に枚数が出るようになっていて、シャッターが切れた後に目盛数字が動くから、フィルムを巻上げても撮影を行わないと枚数計の数字は動かない。ペトリペンタは未撮影のものが何時でも示されている。しかも裏蓋を開くとフィルムカウンターはスタートマークに自動的にもどる。

専用レンズとしては標準オリコー F2.50mm (プリセット絞付) 望遠 F2.8.105mm F2.8.135mm F3.5.200mm F5.300mm がある。

ミラーはフィルム巻上げ前後とも安定して変わらなくスピード・オ・マテックである。スタイルもなかなかスマート。定価未



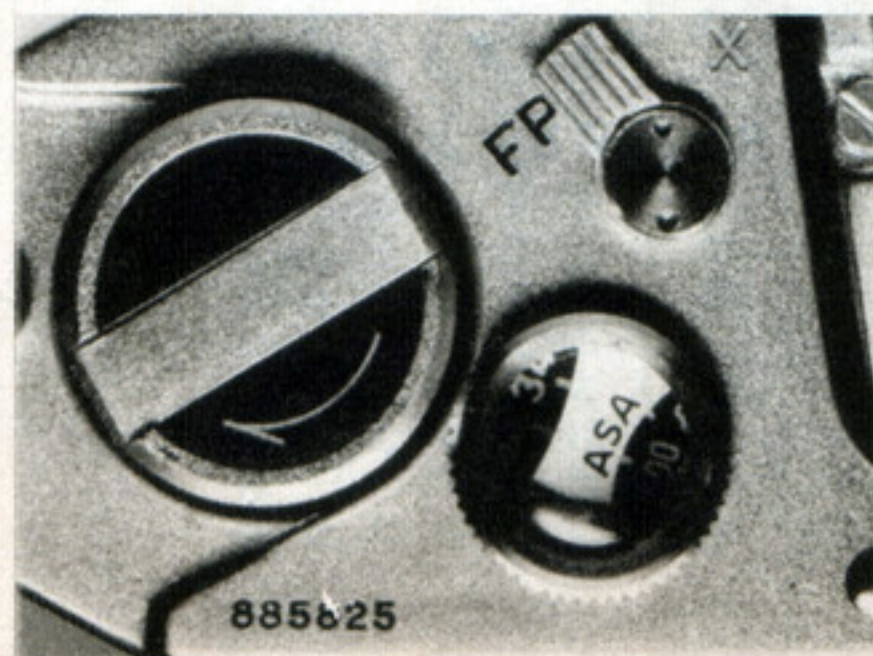
カメラ全体を小型にするため、ペンタプリズム・ファインダーは固定式でカメラボデー内に深く沈んで付けられてある。カメラ左手角にアクセサリシュー取付部がある。焦点面はフレネルレンズ付で、丸型の焦点合せのピントグラスも大きくできていてファインダーは明るい。



フィルム送りは約15度の予備角度をもったレバー回転一操作で、操作角度は約180度連続速写にも便利のようにできている。



巻戻しはノブを引起す折疊式のクラシクハンドルによって行われる。巻戻部の左横とボデー側面にアクセサリシューをネジで取付けられるようになっている。



写真はシンクロ切替レバー、フィルムカウンター兼ASAフィルム感度標示窓部である。フィルムカウンターは自動復元機構で、新しい形式を取入れたのはシャッターで説明したとおりである。シンクロはレバーによりFPおよびXに切替られる。

